

K O I S U R U K A Z U N O S H I N B U N

SUPPORTED BY
うまいもんプロデューサー

ユメセシ
夢先生
ご当地
ニッポン
応援団
JFAこころのプロジェクト × 鹿角市

恋する鹿角新聞

vol. 06
TAKE FREE



スポーツのまち・鹿角

KAZUNO DE SPORTS

東京五輪追加種目の新たなスポーツも、鹿角で始まっています。



平日にも関わらず鹿角人がこぞって通うジムがあると聞いて立ち寄ったのは、ボルダリングジム「アンロシェ」だ。都内のボルダリングジムで知り合ったというオーナーの伊藤しのぶさんと奥様の菜里さん。結婚して子どもが生まれ、環境の良いところで生活したいと考え、ご主人・しのぶさんの地元鹿角に程近い小坂町へ移住した。

「花輪にボルダリングができる場所を作ったのは、天候に左右されずにできるスポーツで、雪が多い秋田では需要があるだろうと思ったから。でもこれだけ賑わってもらえるとは思っていませんでした。ありがとうございます」。

ボルダリングは本来、運動が苦手な人がハマりやすいスポーツだという。

「ボルダリングはチームワークとかトレーニングが苦手な人がハマりやすい。体幹が鍛えられるスポーツなのですが、トレーニングではその体幹がなかなか鍛えられず、登ることが一番のトレーニングということもひとつの要因かもしれません」と菜里さん。

スポーツが苦手な人がハマる新たなスポーツが鹿角にも根付き始めている。

アンロシェ 〒018-5201 鹿角市花輪字下町100 電話 0186-25-8778 月～金 13:00～22:00 土日祝 11:00～21:00 木曜定休 www.un-rocher.com

ある夏の日の放課後、秋田県立花輪高等学校、通称「花高」の陸上グラウンドを訪ねた。着替えを済ませてグラウンドにやってきたのは、とても礼儀正しい陸上部やスキー部の面々だ。西陽を背に輝く汗と弾ける笑顔、元氣ハツラツ、眩しすぎて、ちょっぴり切ない。

花輪高校は今年で創立91年を迎えるスキーと駅伝の強豪校だ。鹿角は「スキーと駅伝のまち」というスローガンを掲げるほど、古くからスポーツ振興に力を入れてきた。卒業生には、女子マラソンで日本人初の世界チャンピオンに輝いた浅利純子選手がいる。スキーもアルペンだけでなく、ノルディックスキーやジャンプ、クロスカントリー競技の選手もいるのが特長である。バンクーバー五輪、トリノ五輪、ソルトレークシティ五輪に日本代表として出場したノルディック複合の小林範仁選手も卒業生の一人だ。そんなアスリート養成地鹿角で、スポーツ振興の歴史とそこにある人々の思いを掘り下げてみよう。

スポーツのまち・鹿角。
その歴史と探る。



KAZUNO DE SPORTS

秋田県立花輪高等学校 〒018-5201 鹿角市花輪字明堂長根12 電話 0186-23-2126

ボルダリングとカフェが融合した鹿角の新たなスポット
“UN ROCHER -アンロシェー-”

店内に入ると、ウッディな雰囲気のカフェ空間が出迎えてくれるアンロシェ。一方、カウンター脇の扉をあけると、広々としたボルダリングジムが広がる。初心者でもスタッフが教えてくれるので、安心してチャレンジできるのが嬉しい。小さい子ども向けのボルダリングスペースもあり、家族連れでも楽しめる。

初回登録料:1,000円
利用料金:大人1,600円 中学生1,200円 小学生500円
※小学生は保護者同伴(保護者入場料+300円)
毎週水曜日はレディースデーで女性1,300円

レンタル | クライミングシューズ:300円 チョーク:200円



UN ROCHER | 〒018-5201 鹿角市花輪字下町100 TEL:0186-25-8778
営業時間 13:00～22:00(土日祝は11:00～21:00) 木曜定休 <https://www.un-rocher.com/>

鹿角観光ファン、募集中!

登録すればお得な特典が受けられる「鹿角観光ファン」は、「鹿角が好き!」「鹿角を深く知りたい!」「鹿角のために何かしたい!」という鹿角市外に在住の方を対象とした制度です。鹿角の観光情報や、お得な旅情報などを定期的にお知らせするほか、鹿角にいらしたときにさまざまな特典がうけられますよ!

左記、あかね会員の特典に加えて…

あかね会員 (無料会員)		新むらさき会員 (有料会員)	
特典 1	観光施設などの各種割引が受けられるファンパスポートのプレゼント ※有効期限あり	特典 4	3,000円の市内宿泊割引券+2回目以降もしくは同伴者利用分の宿泊に使える宿泊割引券2,000円分をプレゼント
特典 2	観光パンフレットや各種イベント情報の提供(鹿角観光ファン通信など)	特典 5	市内観光施設などで使える1,000円分の利用券(500円×2枚組)をプレゼント
特典 3	鹿角市内の宿泊施設が独自に規定する特典(記念品など)のプレゼント	特典 6	市の指定する案内人付旅行商品を宿泊者限定で500円引きで提供

詳しくはWebサイトをご覧ください。 <http://www.ink.or.jp/~antler/kankofan.html>

お問い合わせ | (株) かつの観光物産公社 〒018-5201 鹿角市花輪字新田町11-4 TEL:0186-22-0520 FAX:0186-22-4020

第70回記念 十和田八幡平駅伝競走全国大会



開催日：2017年8月7日（月）
十和田湖休屋から八幡平大沼までを結ぶ5区間全長73.7km、標高差818mと起伏に富んだコースを駆け抜ける真夏のレース。

全日本 ローラースキー選手権大会



開催日：2017年8月11日（金）～12日（土）
男女それぞれ小学生、中学生、少年、青年の部が設けられたローラースキーの大会。会場は花輪スキー場ローラースキーコース。

第71回 花輪町廻り駅伝



開催日：2017年8月15日（火）
今年で71回目を数える伝統ある町内対抗の駅伝大会。毎年必ず終戦記念日に開催される。小学生の部と、中学生・一般の部を開催。

サマーノルディックスキー大会 2017



開催日：2017年10月13日（金）～15日（日）
サマーノルディックスの聖地「花輪スキー場」で開催される今年で11回目を迎える大会。ローラースキー競技は商店街の道路で開催する。

今年度鹿角市で行われる主なスポーツイベント



昭和55年の開会式。この中に浅利純子さんもいたという。



「旧花輪図書館」前で行われる表彰式。



応援する沿道には、笑顔と明るさが溢れる。



大勢の人で賑わう商店街で開催する「花輪町廻り駅伝」。



鹿角市民に根付いたスローガン 「スキーと駅伝のまち・鹿角」

スキーといえば、鹿角。駅伝といえば、鹿角。このイメージはなぜ、根付いたのだろうか。鹿角で駅伝が始まったきっかけには「アスリート養成」というイメージとは異なる、ある理由が隠されていた。鹿角の歴史を紐解く上で大切なものが、鉱山の他にもある。

鹿角のコミュニティの力。 礎を築いた「スポーツの力」。

「鹿角の人たちにとって、駅伝はとても身近な存在です。幼いころから駅伝に出た経験を持っている人が多く、それをきっかけに陸上をやりたいという人が増えています」と田口さん。スポーツの力が、鹿角地域の元気を取り戻していったのは間違いない。一方で、スキー文化はどうなのだろうか。

「まあ、冬は雪にヌカって走れないからね笑。冬はスキーが雪力キというのが普通です。昔は、陸上をやっている選手が冬になればスキーをやりたいというのが割と当たり前でした」と田口さんがさつくばらんに話してくれた。肩透かしをくらったような感もあるが、当たり前かもしれない。

鹿角で盛んなスキー競技のなかにはアルペンだけではなく、ジャンプやクロスカントリーがある。

「昔、鉱山が盛んな時期に尾去沢鉱山にスキー部があったんですよ。尾去沢鉱山にジャンプ台もありました。思わず、また鉱山！と驚けてしまった。なんと、スキーが根付いた理由のひとつも、尾去沢鉱山の存在があったというのだ。それによりノルディックスキーも目と盛んになったのだから。」

「尾去沢鉱山スキー部は、尾去沢中学校のグラウンドに手作りジャンプ台を作り、指導を行っていたんです。そういうことも、ここでジャンプが盛んになったきっかけなのではないかな。」

「町廻り駅伝は終戦の2年後から始まりました。毎年8月15日の終戦記念日に開催されています。開催した目的は戦没者の慰霊、戦後の復興と若者たちの連帯意識の醸成でした。敗戦によって身も心も打ちひしがれて戦場から戻った人たちは、食料も職もなくふらふらしていたといいます。これではいけない、と青年会を中心に各町内に呼びかけ、町内対抗の駅伝大会が始まりました。町を再び元気にするために、スポーツの力が必要だったんです。」

駅伝を通して、人々は絆を強めていった。小学生から大人まで参加する大会だったこともあり、幼いころから「駅伝に親しむ」という風土を作り上げた。どこ

鹿角市花輪にある、東北唯一のスポーツ複合施設「アルパス」。高さの異なる4つのジャンプ台、クロスカントリーコースを備えた花輪スキー場、宿泊施設を備えたトレーニングセンター、陸上競技場やテニスコート、スケートボードパークなどを備えた総合運動公園など、その施設の充実度は目を引くものがある。

「スキーと駅伝のまち」というスローガンを掲げ、スポーツ振興に力を入れている鹿角市。秋田県内でも「バスケの能代」と匹敵するほど「スキー・駅伝の鹿角」というイメージが浸透している。なぜ鹿角でこの2つのスポーツが盛んになったのだろうか。

「鹿角には『花輪町廻り駅伝』という駅伝大会があるのですが、今年で71回目を迎えます。駅伝文化が根づいた背景には、この大会の存在が欠かせないですね」と教えてくれたのは、鹿角市体育協会会長の務める田口将さんだ。田口さん自身も幼いころからこの大会に参加していたそうだ。

子どもたちの身体能力の高さに 受け継がれてきたものが表れている



浅利純子さん（1969年生まれ）。日本人女子として初の世界一に輝いた伝説のマラソン選手。現在は鹿角市スポーツ推進委員。競技歴は38年！



鹿角でスポーツトレーナーをしている黒澤正幸さんは、花輪高校陸上部出身だ。卒業後、地元企業に就職したが、職場の同僚に「娘にハードルを教えてほしい」と頼まれて指導することに。指導者としては全くの未経験、しかしなんと、その子が市の大会で優勝してしまつたというから大変だ。黒澤さんのかつての情熱が再沸していった。

「本気でスポーツトレーナーとしてチャレンジしたいと思うようになりました。」

そう繰り出された例の同僚は、黒澤さんを引き止めることを決してできない。土京してトレーナーになるために猛勉強し、黒澤さんは再び鹿角に帰ってきた。現在は小学生から成人まで幅広い人に向けたトレーナー業務を行っている。

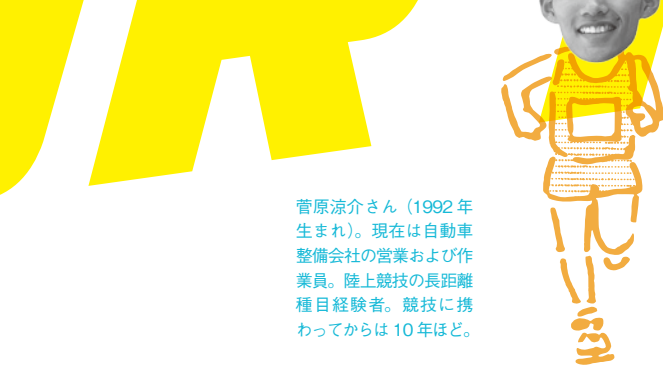
「実際、体の動かし方のアドバイスをしてあげるだけで、能力はぐんと伸びるんです。何も考えずにトライするのはなく、どうしたら速くなるか、どうしたらこの部分の筋肉を使えるか、ということと一緒に考えています。実際、鹿角の子供たちは運動能力が高い子が多いと感じています。ただ、最近では陸上をやりたいという子が減ってきていて寂しいですけど、スポーツは相変わらず盛んだと感じますよ。」

アスリートを育てる一方、
鹿角市民の絆を育てたスポーツの力

鹿角にとってスポーツが盛んになったきっかけは、それ自体がまちづくりであり、「コミュニティ形成のためのひとつのツールであったことは先にも述べた。実際、鹿角の人と接していて思うことは、何らかのスポーツを長く続けている人が多いことだ。陸上やスキーはもちろん、野球やサッカー、バスケ、テニスなどなど。そして、そのスポーツを通じて、小学生、高校生にかかわらず、成人してからでも「コミュニティ」が生き続けている。自然と経験者が後世の育成に携わっている流れができています。スポーツこそが鹿角のまちづくりを支えてきたという田口さんの言葉が印象的だった。



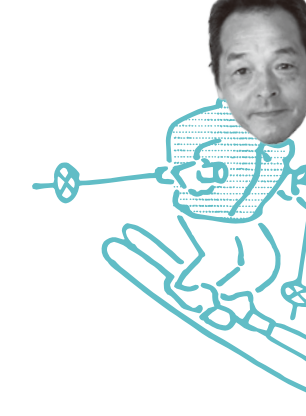
横堀一秀さん（1969年生まれ）。現在は株式会社山形山事務部にお勤め。長年携わっている競技はサッカーで、競技を始めてから33年。



菅原涼介さん（1992年生まれ）。現在は自動車整備会社の営業および作業員。陸上競技の長距離種目経験者。競技に携わってからは10年ほど。



黒澤正幸さん（1979年生まれ）。現在は「スポーツコンディショニングトレーナー」。小学4年生から陸上を始めた。競技に携わって28年ほど。



田口将さん（1953年生まれ）。現在、秋田県スキー連盟競技本部長でありNPO法人鹿角市体育協会会長。クロスカントリースキー歴50年。



板橋知也さん（1985年生まれ）。鹿角市役所産業活力課勤務で鹿角市役所野球部員。野球歴は22年。最近、小学校野球部のコーチに就任。

鹿角市を通じて考える、自分らしいライフスタイル

「ゼクシィ縁結び」と鹿角市がコラボレーション！鹿角市の魅力がギュッと詰まったイベント。学ぶ・作る・観る・感じる・食べるの体験を通して鹿角市で自分らしいライフスタイルを見つけませんか？

- Step 1 1日目 9.16(土)**
- 普段なかなか体験することの出来ないそば打ち体験に挑戦。
緑あふれる中瀬森林セラビロードで自然を感じる！
懇親会では美味しいお料理を堪能しながらより交流を深めて下さいね♪
- Step 2 2日目 9.17(日)**
- 地域交流イベントでは鹿角市のくらしを体験。
北限の桃の産地である鹿角市でもぎたての桃を味わえる！
2日間のツアーで鹿角市の魅力に心動かされていることでしょう♪

ゼクシィ縁結び PARTY サイトにて、お申込み受付中！
http://zexy-en-party.net/gotouchi/kazuno/

男性のお申込みはこちら
http://zexy-en-party.net/party/32573
女性のお申込みはこちら
http://zexy-en-party.net/party/33434



鹿角市 × ゼクシィ縁結び
ご当地結び
in 鹿角市
～癒しと出会いの旅～
鹿角市×くらし×セミナー×体験
2017
9.16(sat), 17(sun)

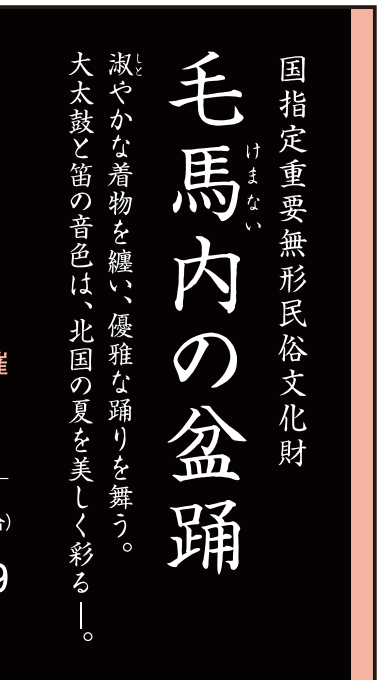


国指定重要無形民俗文化財
毛馬内の盆踊
淑やかな着物を纏い、優雅な踊りを舞う。
大太鼓と笛の音色は、北国の夏を美しく彩る。

8月21日～23日
毛馬内盆踊り会場にて開催
●十和田ICより車で3分
●鹿角八幡平ICより車で20分

お問い合わせ
十和田八幡平観光物産協会
☎ 0186-23-2019
http://www.ink.or.jp/~kemanai09/

毛馬内盆踊り振興会（コナンカード協同組合）
☎ & FAX 0186-30-3939





GOOD JOB KAZUNO

鹿角の魅力は尽きることがない。やっぱり鹿角いいね！

す が ば あ
寿賀婆を
めざせ！

愛情たっぷりレシピ

【本日のレシピ】みずたたき



「みずたたきといえば、秋田の中でも味付けがまちまちらしいな」と言いながら出してくれた寿賀婆のみずたたきは、山椒がアクセント。酒が飲みたくなる。「みずは湧き水のそばとか、水の近くのものがいい。根のほうから10センチくらいを包丁でザクザク切って叩くと粘りがでる」というポイントを教えてくれた。なるほど。さすが寿賀婆。

作り方

湧き水の近くで取ったみず
調味料
塩、味噌、山椒の実 適量
レシピ
皮をむいたみずを根本から10センチほどカットし、塩で漬ける。山椒の実はビニール袋に入れて叩く。茹でたみずを包丁で細かく叩き、途中で味噌を加える。山椒の実と合わせてできあがり。

おふくろの味 寿賀

場所は花輪・親不孝通り。御年80歳を超えた寿賀婆（本名：浅石シガさん）が織り成す、めくるめく寿賀ワールドへようこそ。
鹿角市花輪字囃向11
☎0186-23-3192
営業時間 17:00～23:00
定休日 不定休

前号でも紹介した「ワイナリーこのはな」は、とても新しい醸造所。2011年に鹿角市花輪のアーケード商店街の真ん中あたりにバチンコ店として使われていた店舗を利用してオープンしました。代表の三ヶ田さんは鹿角産ワインの特産化を目指したいという熱い思いで、付加価値の高いワインの開発に日々取り組んでいます。鹿角生まれ鹿角育ちで、地元料理にもとても合う日本ワインです。ぶどう畑は鹿角郡小坂町の「鶴」と「地区」にあります。1000年前の十和田湖大噴火の際に積った火山灰が堆積し、ぶどう作りに適した土壌、ワイノのためのぶどう作りには土壌（テロワール）がとても大切なんです！



※「鶴小公子」720ml
2,500円（税抜）
ワイナリーこのはな
〒018-5201
鹿角市花輪字下花輪171
電話 0186-22-2388
http://www.mkpaso.jp/



「秋田はもん酒場」（東京・杉並区西荻窪）店主の石田さん（静岡出身）の奥様が尾去沢出身。鹿角で食べたホルモンに惚れた店主が、2015年11月に西荻窪にお店を構えました。「幸楽」から取り寄せたホルモンのほか、かつの銘酒（千歳盛）は、ほぼ全酒類揃っています。ふらっと1人でとっても大丈夫。都内で鹿角が満喫できますよ。
〒167-0053 東京都杉並区西荻南3-12-1 日仲西荻プラザA8-1
電話：03-4283-3369



今宵の一献

お題

鹿角のワイン！
ワイナリーこのはな

株式会社関小市商店

1933年創業の「関小市商店」は花輪アーケード商店街にある酒販店。店内には全酒類を網羅しており、地元の酒販店として親しまれている。5代目にあたる看板娘の佐藤景子さんは、母である現社長と二人三脚で経営。

鹿角市花輪字中花輪132
☎0186-22-1255
営業時間 9:00～20:00
年中無休

必食 KAZUNO
愛されグルメ

芳徳庵のりんごどら
(166円・税込)



芳徳庵
鹿角市十和田毛馬内城ノ下18-1
☎0186-35-4398
営業時間 9:00～19:00
定休日 水曜

鹿角市民に人気の「菓子工房 芳徳庵」。この名物はワッフルだ。ふわふわの生地と、中包まれたクリームとの相性はバツグン。人気商品は「クリーム」と「抹茶あずき」。定番商品のほかにも季節限定で旬のメニューも多し。たとえば、春先なら「くぐら」や、夏であれば「レアチー」などが展開されるので、通年さまざまなメニューを楽しめる。安心・安全に子どもから大人まで幅広い人に楽しんでもらいたい、と保存料は不使用だ。また、今回掲載した写真は「りんごどら」という商品。柔らかい生地の間に挟まれたりんごフィリングにはカットりんごも含まれていて、りんごの香りが甘み・酸味、そしてシャキシャキ感が味わえる。実は、第26回全国菓子大博覧会・広島・ひろしま菓子博「で全菓博会最優秀賞を受けている。鹿角の特産であるりんごを使った「りんごどら」は、ぜひ一度ご賞味あれ！

われら地域おこし協力隊

早川隊員 報告

② 011年、東北大震災の中心部にいて、それまであった人の繋がりが一瞬にして消し飛んでしまいました。それが自分の生活を見直す転機となり、勤めていた会社から独立しようと考えて改めて鹿角を訪れたときに、これからの日本で生きるために必要なポテンシャルを感じて移住を決めました。妻の実家が八幡平だったこともあり、以前から訪れてはいたのですが、それまで移住を考えたことはありませんでした。

実は、鹿角に縁のない移住者がここで生活するためには、一人暮らしでも月に23万円が必要です。普通に就業するだけではなかなか厳しいというのが現実。私は起業や就

山と温泉、LOVE♡



鹿角は、純粋に人が人として生きるために必要なものがそろっていて、かつそのクオリティーが高い。「鹿角に無くて都市圏にあるもの」よりも「都市圏に無くて鹿角にあるもの」の方が、価値があると思いますよ！

鹿角市十和田地区にある自然豊かな環境の中で、精密機器の部品製造を行っている株式会社青山精工（おろ魔）は、鹿角市十和田の生まれ。高校時代から、鹿角に残って働くことを決めたという。

「私の家は、わりと大きな専業農家で、両親は農業を営んでいます。私も繁忙期には手伝っているのですが、やはり家を継ぐことも考えると、地元に残りたい、残らなくてはという気持ちがありました。そこで高校を卒業し、隣の大館市にある秋田職業能力開発短期大学校に進学

しました。ここは文部科学省管轄ではなく、厚生労働省管轄の学校で、工業系の専門的な勉強ができました。例えば、金属の特性を学んだり、簡単な機械操作を行ったり。鹿角には製造業の企業が多いので、技術を身につければ地元での就職が可能になるのではと考えました。卒業後、株式会社青山精工に入社。現在は、クライアントからのオーダーに基づいて図面から必要な情報を機械に入力、ひとつひとつの部品を正確に削り出し、精密部品を製造する仕事に従事。今では4～5台の機械のオペレーションができるまでになった。

「長年の経験を持つ先輩たちにアドバイスをもらいながら、少しずつできることが増えて来たと思っています。まだまだとは思いますが、上司や先輩から頼られることも増えました。やはりそれはやりがいに繋がりますね。まだ直属の部下は持っていませんが、自分が先輩たちから学ばせてもらった技術やものづくりの精神を、自分も下の世代に伝えていきたいと考えています。」

そんな赤坂さんに鹿角は住みやすいところか？という質問をぶつけてみた。「もちろん車がないとどこにも行けないので、それは不便だなと思いますが、空気がキレイで、静かなのが良いです。買いたい物はお店もいっぱいあるので、充分だと思っています。他の地域に住みたことか憧れとかはもともと持っていないたので、鹿角に住むのが当たり前です。今まで考えたこともなかったですが、私にとっては住みやすいということなんでしょうね」と、笑顔で応えてくれた。

今のところ、農家を継ぐべきかどうかの結論は出ていないという。

「今はここで技術を磨き、経験を積んでいきたいです」と語る赤坂さん。地元を愛し、家族を思う若者の未来は、まだ多くの可能性を秘めている。



KAZUNO-DE OSHIGOTO

鹿角の企業と、そこで働く元気なワカモノたち。



少しずつでも経験値が上がって
上司や先輩たちから
頼られるのがやりがいです。

株式会社青山精工
赤坂直紀さん（26歳）



株式会社青山精工 〒018-5337 鹿角市十和田末広紀ノ国平42 TEL0186-35-3350 FAX 0186-35-4887 http://www.aoyama-pi.co.jp

夢を持つことの大切さ。
仲間と協力することの大切さ。

日本サッカー協会が主催する
JFAこころのプロジェクト「夢の教室」は、
鹿角市での開催が8年目を迎えます。
今年も鹿角の子どもたちの夢に寄り添い続けます。



2017年5月29日十和田小学校にて。
夢先生：江上綾乃先生（シンクロナイズドスイミング）



JFAこころのプロジェクト

夢先生

http://www.jfa.jp/social_action_programme/yumesen/

検索

未来輝く、鹿角の企業を紹介！
あなたも鹿角で充実した暮らしをしませんか？パンフレットも
あります！

鹿角の元気いっぱいな企業と、そこで働く若者たち。そして経営者たちを紹介しています。移住を検討している方、鹿角に帰ろうかと考えている首都圏の鹿角出身者は必見です。

〇鹿角の企業いいね！

<http://www.city.kazuno.akita.jp/iine/companyinfo.html>

〇鹿角の企業いいね！動画

<http://www.city.kazuno.akita.jp/iine/companyvideo.html>


お問い合わせ | 鹿角市役所 産業活力課 商工振興班 〒018-5292 秋田県鹿角市花輪字荒田4番地1 ☎ 0186-30-0250 FAX 0186-30-1515



KAZUNO INFORMATION

鹿角の美味しいもの、おもしろいもの。鹿角への思いを馳せるモノ。



鹿角不思議研究所

言 超常現象

古代遺跡



未確認生物

鹿角には、昔から語り継がれてきた民話や昔話などが多数ありますが、中にはキツネにまつわるものがあります。例えば、酒に酔った男性が女性に化けたキツネに騙される話や、キツネ火などの怪火現象も昔は実際にあったと聞いています。さて、鹿角市八幡平のある神社には今も伝わる珍しいキツネの「ゆで玉子」占いがあります。そこには白いおキツネ様が住んでおり、お参りする人が「ゆで玉子」と油揚げを祠にお供えて、願い事を書いた紙を置き、翌朝にはゆで玉子に「お印」をつけてくれるかどうかで占うものです。昔は、行方不明者探しや男女の産み分けなどのほか、近年では受験合格の可否や商売繁盛なども良く当たると密かに評判です。——8月の鹿角不思議研究所の番組月間テーマは、「心霊」をテーマにお送りいたします。

※「鹿角不思議研究所」は鹿角きりたんぼFMで毎週月曜午後1時から放送している番組での架空の研究所です。番組では、皆様からの不思議体験など、メッセージを募集しています。

鹿角不思議研究所、放送のご案内



鹿角の元気にスイッチオン！

鹿角きりたんぼFM
http://fm791.net

鹿角きりたんぼFM (79.1MHz) 毎週月曜午後1時から放送
再放送：水曜午前9時～、木曜午後2時～、土曜夜7時～
番組blog：http://fusigikenkyujo.blog.jp/
facebook：https://www.facebook.com/kazunofusigi/

FM79.1MHz

ACCESS

◇お問い合わせ先

鹿角市役所（観光担当）
TEL.0186-30-0248
秋田県鹿角市花輪字荒田 4-1
http://www.city.kazuno.akita.jp/
(株) かつの観光物産公社
TEL.0186-22-0555
秋田県鹿角市花輪字新田町 11-4
http://www.ink.or.jp/~antler/



列車を利用する場合 ※最速の時間を表示（要時刻表参照）

東京	東北新幹線	盛岡	花輪線	鹿角花輪
	2時間11分		2時間	
秋田	奥羽本線	大館	花輪線	
	1時間33分		1時間	
青森	奥羽本線			
	1時間10分			



高速バスを利用する場合 ※最速の時間を表示（要時刻表参照）

盛岡	「あすなろ号」	小坂	1時間13分	青森
	1時間31分			
	「みちのく号」			
	1時間20分		56分	大館
仙台		鹿角花輪	56分	
	3時間45分			
池袋	夜行バス「ジュピター号」			
	8時間30分		2時間15分	能代



航空機を利用する場合 ※便によっては運休期があります

東京(羽田)	ANA	65分	大館能代	
			相乗りタクシー(要予約)	
札幌(新千歳)	JAL・ANA	50分		
東京(羽田)	JAL	75分	青森	
名古屋(小牧)	JAL	85分		
大阪(伊丹)	JAL	95分		
札幌(新千歳)	JAL	55分		
名古屋(小牧)	FDA	85分	いわて花巻	
大阪(伊丹)	JAL	90分		
福岡	JAL	125分		



車を利用する場合

◆鹿角八幡平ICを利用した場合		
盛岡IC	1時間	鹿角八幡平IC
八戸IC	1時間	
仙台宮城IC	3時間	
浦和本線	6時間30分	
◆十和田ICを利用した場合		
大鰐弘前IC	40分	十和田IC
青森IC	1時間	
◆国道7号または285号経由.103号を利用した場合		
秋田市	2時間30分	鹿角市



鹿角いいね！直売所

鹿角いいね!直売所 ◆人気ランキング◆

第1位
岩船屋



みそつけたんぼセット(1,000円・税込)
味噌の香ばしい香りがたまらない秋田県産のうるち米で作ったたんぼ5本と、味噌だれが付いたセットです。家庭で簡単にみそつけたんぼが食べられます！

第2位
刈谷食品



しそまきあんず(2,268円・税込)
鹿角に古くから伝わる郷土料理「しそあんず」。杏をその葉で巻き、長時間漬けた。伝統的なお茶うけです。しその香りと杏の甘酸っぱさは相性バグテン。

株式会社かつの観光物産公社 ☎0186-22-0555
✉tanpo18@ink.or.jp FAX0186-22-0222 〒018-5201 鹿角市花輪字新田町11-4

特産品販売サイト 鹿角いいね!直売所
http://kazuno-ine.com/store